

自然のこもにくらす

岳南中 二年 丸野 松幸

僕の地元屋久島には、たくさん自然がある。その自然の中で僕は、色々な体験してきた。中でも、記憶に多く残っている場所は、ヤクスギランドだ。ヤクスギランドには、何回も行ったことがあるが、インパクトが大きかったのは、中学一年生の宿泊学習の時だった。

僕は、元々自然が好きなのだけれど、知っていることが多かった。しかし、ガイドと一緒に一緒にまわると、自分もまだ知らないことがあるなと思った。色々なところをまわっていると、たおれた木の上に、木の種がおち、芽が出ているところを見た。とうとううれんというて、たおれた木から、栄養を吸いとって、成長するの聞いた。それを聞いてぼくは、屋久島は花の岩が多いから、栄養を取るためにしている。植物の工夫なのかなと思った。

さらに、しばらく歩くところ、  
久杉のところが出た。太い幹ですごい  
はく力だ。と思った。しかし、ガイド  
さんから、杉は弱っていると言  
った。幹の中を見たら、  
と言われて見てみると、  
た。他にも、葉っぱは、  
ししか生えておらず、  
思えなかった。

どうしてこうなのかな、  
ガイドさん

人が教えてくれた。原因は、  
た杉を見におとすれ、  
っている根っこが、  
いた。屋久杉は、  
は、悪くない。それに、  
ているわけでもない。それ  
も、杉には多すぎた。  
と思つた。

現在は、足場が設けられて、  
こへの直接はダメ。ジは防が  
れている。しかし

し、足場の下を見下ると植物が、全く好い  
のだ。日光があたりないため、育たないやう  
だ。ぼくは、仏に砂を守るために周りを犠牲  
にし、はいといけたいのは、残念だと思つた。  
仏に砂も大事だが、周りの草木も大事だ。レ  
かし、もし足場がつかつたら、周りの草木も  
ふまれ、かえつてしまふ。どうにか守るため  
に、どうにか犠牲にしなければならぬの  
は、とても残念だと思つた。

ぼくは、ヤクスギランド散策を終えて、様

々ほことおれあつた。現在の世界はどうだ  
ろうか。自然を大切に思つていふだろうか。  
技術の進歩は大変だが、それと共に地球への  
負担も考へてほしい。人間と自然は、大昔か  
ら共にすごしてきている。その関係は、今後  
もくびくおに、レフかりと共存していつは  
しい。